

平成30年度事業計画書

1. 松竹大谷図書館の維持運営に関する事業

一般公開を行う演劇・映画の専門図書館として以下の事業を行う。

(1) 資料の収集

製作会社、劇団、各関連団体、出版社等に協力を願い、演劇・映画に関する書籍、雑誌、台本、プログラム、ポスター、写真などを収集する。

(2) 資料の整理と保存

収集した資料は適切に分類、整理、保存し、検索により利用可能な状態にする。

(3) 一般公開

閲覧室を一般に公開し、資料を閲覧に供する。(無料)

開館時間:10:00～17:00

休館日:土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、年末年始、春期・夏期休館期間、5月1日、11月22日

(4) レファレンスサービス

利用者の演劇・映画に関する参考文献調査の手助けを行う。

(5) 複写サービス

著作権法の範囲内で資料の複写サービスを行い、利用者の便宜をはかる。

(6) 閲覧室内資料展示

閲覧室内で所蔵資料の展示を行い、所蔵資料を紹介する。

(7) 演劇上演記録の作成

資料整理の参考とするため、またレファレンス・ツールとして演劇の上演記録を作成する。

(8) 松竹大谷図書館賞

優秀な新作歌舞伎及び新作歌舞伎舞踊劇の脚本に贈る「大谷竹次郎賞」の副賞として「松竹大谷図書館賞」(記念レリーフ)を贈呈する。

(9) 広報

①ホームページの維持管理を行う。

②毎月「松竹大谷図書館ニューズレター」を発行し、新着資料の案内等を行う。

「松竹大谷図書館ニューズレター」はホームページに掲載する。

③Facebook ページの維持管理を行う。

2. 公益事業の推進に資するための所蔵資料等に関連する事業

(1) 所蔵資料を展示、出版、放送等に提供し対価を得る事業を行う。

(2) 所蔵資料を駆使した専門的な原稿の依頼がある場合は可能な限り対応し、対価を得る事業を行う。

3. その他目的を達成するために必要な事業

4. 資金調達及び設備投資の見込みについて

当期中における借入れの予定及び重要な設備投資の予定はない。

平成30年度収支予算書内訳表
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引控除	合計	備考
	図書館の維持運営	所蔵資料関連事業				
1 I 一般正味財産増減の部						1
2 1 経常増減の部						2
3 (1) 経常収益						3
4 ①基本財産運用益						4
5 基本財産受取利息	0	0	1,845		1,845	5
6 基本財産受取配当金	4,095,600	0	0		4,095,600	6
7 ②特定資産運用益						7
8 特定資産受取利息	2,910	0	0		2,910	8
9 ③事業収益						9
10 図書館運営事業収益	560,000	3,500,000	0		4,060,000	10
11 ④受取補助金等						11
12 受取助成金	100,000	0	0		100,000	12
13 ⑤受取寄付金						13
14 受取寄付金	37,325,720	0	1,918,200		39,243,920	14
15 ⑥雑収益						15
16 受取利息	1,096	0	0		1,096	16
17 雑収益	0	50,000	0		50,000	17
18 経常収益計	42,085,326	3,550,000	1,920,045		47,555,371	18
19 (2) 経常費用						19
20 ①事業費						20
21 給料手当	35,979,669	181,715			36,161,384	21
22 退職給付費用	111,870	565			112,435	22
23 法定福利費	5,396,950	27,257			5,424,207	23
24 福利厚生費	100,174	505			100,679	24
25 図書購入費	500,000	0			500,000	25
26 松竹大谷図書館賞	100,000	0			100,000	26
27 旅費交通費	809,786	3,787			813,573	27
28 通信運搬費	238,000	1,000			239,000	28
29 減価償却費	839,023	0			839,023	29
30 消耗什器備品費	30,000	0			30,000	30
31 消耗品費	476,400	1,800			478,200	31
32 修繕費	1,043,474	0			1,043,474	32
33 印刷製本費	99,650	70,868			170,518	33
34 光熱水料費	375,604	1,242			376,846	34
35 研修費	50,000	0			50,000	35
36 修復・デジタル化費	1,000,000	0			1,000,000	36
37 システム保守費	1,339,156	1,064			1,340,220	37
38 雑費	60,800	0			60,800	38
39 事業費計	48,550,556	289,803			48,840,359	39
40 ②管理費						40
41 給料手当			181,715		181,715	41
42 退職給付費用			565		565	42
43 法定福利費			27,257		27,257	43
44 福利厚生費			505		505	44
45 会議費			90,000		90,000	45
46 旅費交通費			5,787		5,787	46
47 通信運搬費			26,000		26,000	47
48 消耗品費			1,800		1,800	48
49 印刷製本費			65,175		65,175	49
50 光熱水料費			1,242		1,242	50
51 支払報酬			648,000		648,000	51
52 システム保守費			33,464		33,464	52
53 雑費			610,000		610,000	53
54 管理費計			1,691,510		1,691,510	54
55 経常費用計	48,550,556	289,803	1,691,510		50,531,869	55
56 評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 6,465,230	3,260,197	228,535		▲ 2,976,498	56
57 基本財産評価損益等	0				0	57
58 当期経常増減額	▲ 6,465,230	3,260,197	228,535		▲ 2,976,498	58
59 2 経常外増減の部						59
60 (1) 経常外収益						60
61 経常外収益計	0	0	0		0	61
62 (2) 経常外費用						62
63 経常外費用計	0	0	0		0	63
64 当期経常外増減額	0	0	0		0	64
65 他会計振替額	3,250,161	▲ 3,250,161	0		0	65
66 税引前当期一般正味財産増減額	▲ 3,215,069	10,036	228,535		▲ 2,976,498	66
67 法人税、住民税及び事業税	0	0	70,000		70,000	67
68 当期一般正味財産増減額	▲ 3,215,069	10,036	158,535		▲ 3,046,498	68
69 一般正味財産期首残高	1,511,370,589	68,348	31,510,669		1,542,949,606	69
70 一般正味財産期末残高	1,508,155,520	78,384	31,669,204		1,539,903,108	70
71 II 指定正味財産増減の部						71
72 所蔵資料受贈益	5,000	0	0		5,000	72
73 当期指定正味財産増減額	5,000	0	0		5,000	73
74 指定正味財産期首残高	83,907	0	0		83,907	74
75 指定正味財産期末残高	88,907	0	0		88,907	75
76 III 正味財産期末残高	1,508,244,427	78,384	31,669,204		1,539,992,015	76